

# 東京農業大学稲花小学校

学校だより【2022年7月4日】第130号



## 水泳授業、2週目も

6月20日(月)に2年ぶりに始まった水泳授業。6月27日(月)は3年生、28日(火)は4年生が、2回目の水泳授業を受けました。熱中症防止のため、プールサイドには散水し、またプールサイドにいる時間も短縮しました。マスクをはずしているため、新型コロナウイルス感染防止のため、おしゃべりも厳禁です。さらに、授業の後にたっぷり水を飲むことも忘れてはいけません。のびのびと楽しくプールに入れないのがかわいそうでしたが、子どもたちはおおむね教員の指示を守ることができました。

一方、29日(水)の2年生、30日(木)の1年生については、さらなる猛暑、そして体力的にも弱い低学年であることから、水泳の授業を中止としました。子どもたちはさぞ、がっかりしたことでしょう。しかし、安全第一ということで、次週の授業に期待をつなぎました。

なお、猛暑の続く中、中休みや昼休みにグラウンドやサブグラウンドに出て遊ぶことも制限しています。そのため、エネルギーがたまる一方の子どもたちには、いつもより落ち着かない様子も見られるかもしれません。熱中症防止を第一に、校舎内の換気を続けながら、空調もしっかり効かせて、教室や図書室、体育館で子どもたちは過ごす日が多くなりそうです。

## 小菅村宿泊学習は延期

6月30日(木)から1泊2日で予定していた小菅村宿泊学習は、新型コロナウイルス感染防止の観点により、直前でしたが学級閉鎖の措置をとったことから、延期となりました。残念ではありますが、実施に向けて、すぐに準備を開始しています。できなかった、ということにフォーカスするのではなく、それなら！と、次の一手を考えることが大切でしょう。子どもたちにも、新たなスケジュールでの実施に向けて体調を整え、楽しみに待っていてほしいと思います。なお、7月7日(木)からの小菅村宿泊学習は実施の予定ですが、台風の様子などを見ながら慎重に判断したいと考えています。

## 野菜の成長も進む

農大稲花小の畑をご指導いただいている「畑の先生」からは、「ナスが大きくなっています。大きくなりすぎますよ。」とか「トマトが色づいています。カラスが来るといけません。」とお知らせをいただくことがあります。授業で予定した収穫日を前に、ナスもどんどん大きくなっているようです。早めに収穫したナスを届けていただいた日もありました。

また、校舎のテラスで育てているミニトマトは、暑さと強い風のせいでしょうか。葉の一部が枯れたものが目立ちます。イネもちょっと元気がないのが心配です。カボチャにはうどんこ病が発生しています。

農作物を育てるのは容易ではないと、改めて感じる毎日です。子どもたちには、枯れたり弱ったりした植物を見せることも教育の一つと考えていますが、農家の立場であつたらもっともっと深刻でしょう。学年が進むにつれて子どもたちが、様々な方々の思いに気づけるように育ててほしいと願っています。

## 東京農業大学「食と農」の博物館およびバイオリウムの見学(続)

6月24日(金)の稲花タイムでは1年1組が、そして7月1日(金)の稲花タイムでは1年2組が、東京農業大学「食と農」の博物館と隣接する(一財)進化生物学研究所バイオリウムを訪問し、見学しました。1年2組もまた、丁寧なご説明やご案内をいただき、一般の訪問者としてでは体験できない農大稲花小スペシャルプログラム?を体験することができました。子どもたちはもちろんのこと、はじめて「食と農」の博物館とバイオリウムを訪問した教員も、大感激。お世話になった皆様には感謝申し上げます。

### 〔 東京農業大学「食と農」の博物館 〕

<https://www.nodai.ac.jp/rieb/>

### 〔 バイオリウム 〕

<https://www.nodai.ac.jp/campus/facilities/syokutonou/>

## マスクをはずした子どもたち

「食と農」の博物館およびバイオリウムの見学をした7月1日(金)は大変な猛暑。ということで、1年2組の子どもたちには、小学校の外に出たらマスクをはずすこと、しかし、マスクをはずしている間はおしゃべりをしないことを約束をしてもらいました。子どもたちは、この約束を真剣に守って、小学校正門と博物館入口の間を、先生に引率されて静かに歩いて往復することができました。

熱中症防止のためにマスクをはずす場面は増えてきます。1人で道を歩いているときは、あまり心配がないかもしれませんが、しかし、マスクをはずすことと、隣り合った子ども同士がおしゃべりをしないことがセットでの約束となります。それは、「屋外では、近距離(2m以内を目安)で会話する時以外はマスクをはずしてよい」とされているからです。また、熱中症防止のために水を飲む場面でも、まず周囲の安全を確かめて立ち止まってから水を飲むこと、ペットボトルを手に持って歩かずランドセルなどにしまうこと、そして水を飲む間は、そばにいる友だちとおしゃべりをしないことも約束となるでしょう。

東京都でも新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しています。制服を着ての歩き飲みや、マスクをはずしての大声やおしゃべりなどは、感染防止の観点から不適切なだけでなく、大変目立ちます。登下校については、多くを保護者の判断にゆだねていますが、熱中症と新型コロナウイルス感染症の防止という2つの観点からのご指導をよろしくお願いします。

校長 夏秋 啓子



# 屋外・屋内でのマスク着用について

- マスク着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要です。  
一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。
- 屋外では、人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**
- 屋内では、人との距離（2m以上を目安）が確保できて、かつ会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**



## 【屋外】

距離が確保できる

距離が確保できない

会話をする

マスク必要なし



マスク着用推奨



会話をほとんど行わない

マスク必要なし



マスク必要なし



公園での散歩やランニング、サイクリングなど

徒歩や自転車での通勤など、屋外で人とすれ違う場面

## 【屋内】

距離が確保できる

距離が確保できない

会話をする

マスク着用推奨



※十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可

マスク着用推奨



会話をほとんど行わない

マスク必要なし



距離を確保して行う  
図書館での読書、芸術鑑賞

マスク着用推奨



通勤ラッシュ時や人混みの中ではマスクを着用しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。  
体調不良時の出勤・登校・移動はお控えください。



夏場は、熱中症防止の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨します。

マスクに関するQ&A



# 子どものマスク着用について



人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合  
においては、マスクを着用する必要はありません。  
また、就学前のお子さんについては、  
マスク着用を一律には求めています。



## 就学児について

（小学校から高校段階）

### マスク着用の必要がない場面



#### 屋外

- ・人との距離が確保できる場合
  - ・人との距離が確保できなくても、  
会話をほとんど行わないような場合
- ＜例＞離れて行う運動や移動  
鬼ごっこなど密にならない外遊び  
＜例＞屋外で行う教育活動（自然観察・写生活動等）

#### 屋内

- ・人との距離が確保でき、  
会話をほとんど行わないような場合
- ＜例＞個人で行う読書や調べたり考えたりする学習

### 学校生活

屋外の運動場に限らず、  
プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際  
※運動部活動において接触を伴う活動を行う場合には、各競技団体が作成するガイドライン等を確認しましょう  
※活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を徹底しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。

保育所・認定こども園・幼稚園等の

## 就学前児について

### 2歳未満

マスクの着用は推奨しません。

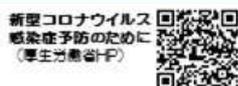
### 2歳以上の就学前の子ども

他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めています。マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。



気をつける  
ポイント

- ▶夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要な場面では、マスクを外すことを推奨します。
  - ▶マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。
- ※その他地域の状況に応じて、講じられている対策がある場合、それを踏まえ対応をお願いします。



新型コロナウイルス  
感染症予防のために  
（厚生労働省HP）



ひと、くらし、みらいのために



新型コロナウイルスに関連した感  
染症対策に関する対応について：  
幼小中高・特別支援学級に関する情報  
（文部科学省HP）

